

平成 26 年 11 月 13 日

各 位

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1  
オンコセラピー・サイエンス株式会社  
代表取締役社長 森 正治  
(コード番号 4564 東証マザーズ)  
(問い合わせ先) 取締役管理本部長 山本和男  
電話番号 044-820-8251

3種類のがん特異的ペプチドワクチンの臨床研究結果についての  
国立大学法人熊本大学からのプレス発表のお知らせ

この度、当社が知的財産権を保有し製薬企業に独占的実施権を許諾している3種類のがん特異的ペプチドワクチンの臨床研究（医師主導第Ⅱ相臨床研究）の結果に関しまして、国立大学法人熊本大学（以下、熊本大学）よりプレス発表がありましたので、お知らせいたします。

熊本大学大学院生命科学研究部・歯科口腔外科学分野の篠原正徳 前教授（現名誉教授）らは、同大学生命科学研究部・免疫識別学分野の西村泰治 教授、シカゴ大学医学部（前東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター長）の中村祐輔 教授らとの共同研究によって、他に治療法がないと診断された進行性の頭頸部がん患者さんに対する、「3種類のがん特異的抗原ペプチドワクチン」を利用した療法を施行されました。その結果、がん細胞を殺す機能のあるT細胞の反応を著明に増強させ、患者さんの生存期間延長効果のあること、特に、3種類のがん抗原ペプチドの全てに反応するキラーT細胞が誘導された患者さんの生存期間が、より長いことを明らかにされました。詳細は、熊本大学のホームページをご覧ください。

なお、この臨床研究に関する研究成果が、米国癌学会が発刊している癌の臨床研究に関する学術雑誌である、Clinical Cancer Research誌に、Web上で公開されております。

<http://clincancerres.aacrjournals.org/content/early/2014/11/12/1078-0432.CCR-14-0202.abstract>

今回の3種類のがん特異的に発現するがん抗原ペプチドを用いたワクチンは、これまで当社が臨床試験を行ったワクチンとは異なり、3種類すべてが東京大学医科学研究所中村祐輔研究室で発見されたオンコアンチゲンに基づいて見つけれられたものです。

当社は、今回の研究成果について、今後の多種類がん特異的ペプチドワクチン開発の意義を示唆しているものと考えています。

以上